

2019～2020 部長方針・活動方針

京都部部長 島田博司（京都ウエスト）

1. 部長主題

限界を超えろ！ ～Y's Power? No Limit!～

2. 活動方針

この一年“限界を超えろ！”をキーワードにワイズメンの力には限りがない。無限大である。を実行し、そして証明したいと考えます。

京都部には現在18クラブが活動し、チャーターから70年をこえるクラブもあれば、誕生して数年のクラブもあり、メンバー数が60名を超えるクラブもあれば、十数名のクラブもあります。各クラブがその特長・個性を発揮し、それぞれのクラブでしかできない素晴らしい活動をされている中で、自クラブがこの先どのような方向に向かって行くのか、5年先には自クラブがどのような姿になっているのか、自クラブの長所・短所をもっとクラブ内で話し合い、それによって自クラブの持つ個性をもっと伸ばして今まで踏み出せなかった課題・将来に正面から向き合い、各クラブが一丸となってより一層強いクラブの集まり、強い京都部を目指したいと考えます。そのためには社会でのワイズメンズクラブの知名度をもっと広げなくてはなりません。

京都部メンバーの皆さん、メンバーの家族や取り巻く方々、支援先の皆さん、YMCAに関わる皆さん等々、たくさんの方を巻き込んだワイズデーを開催し、各方面に強く、深くアピールしてワイズメンズクラブの知名度を京都部から広め、その熱を西日本区にも発信したいと考えます。

1つのクラブでは超えられない限界も、各クラブがそれぞれの特長、個性を発揮し、550名が一丸となれば限界を超えられる。京都部がひとつとなって限界を超え、達成感を共有したい！そしてともに発展したい。これが部長としての私の想いです。

3. 活動計画

YMCA サービス・ユース事業

YMCAのブランド力とワイズメンズクラブの行動力・実行力を融合させ、ともに発展できるよう、引き続き京都部として支援し協力する。

ユースの若者と積極的にかかわりを持ち、将来ワイズ活動に参加してもらえる仕組みの構築に努める。

地域奉仕・環境事業

各クラブが現在支援されている奉仕先の皆さんとともに何か一つのことに向かって協力し、お互いが達成感を共有することにより、一層支援のモチベーションを高められるよう、ワイズデーを通して京都部が皆さんとともにひとつになれるための努力をする。

自然災害や環境の変化から起こる災害についての危機管理を京都部で今一度考える。

EMC事業

引き続き京都部600名体制を目標に、強いクラブづくり、強いクラブの維持、そして強いクラブの

誕生が実現できるよう、各クラブ間での情報を共有できるシンポジウムを開催し、お互いに良い意味でクラブ間での競争ができるような関係づくりに努めます。

国際・交流事業

DBC・IBCの交流活動を積極的にしましょう。違う地域や世界の方との交流はクラブの活性化のみならず、自分自身の考え方や人生を豊かにしてくれると考えます。メンバーはすべて国際協会の一員です。そのことを交流を通じて感じ、なにより交流を楽しみましょう。

メネット事業

メネットならではの視線からメンではわからない女性ならではの優しい感性でサポートしてもらいたい。またその感性で独自の活動を進めてもらいたいと考えます。

4. 部行事予定

評議会（年4回・6月、9月、2月、2020年6月）
京都部会 2019年9月1日（日）京都ホテルオークラ
ワイズデー（未定）

京都部役員予定者

京都部書記：塚本 勝巳
京都部書記：牧野 万里子
京都部会計：安平 知史
京都部事務局長：角谷 多喜治

京都部主査・PR委員長予定者

Yサ・ユース事業 北川 雅俊（京都ウイング）
地域奉仕・環境事業 香山 章治（京都キャピタル）
EMC事業 山下 大輔（京都トップス）
国際・交流事業 竹山 直司（京都洛中）
メネット事業 岩本 敬子（京都ウエスト）
PR委員長 吉田知弘（京都グローバル）

京都部クラブ会長予定者（2018～2019 ロースターより）

京都クラブ：山本 晋悟
京都パレスクラブ：藤松 幸一
京都ウエストクラブ：吉川 忠
京都めいぷるクラブ：井上 耕造
京都キャピタルクラブ：西川 欽一
京都プリンスクラブ：澤田 哲平
京都センチュリークラブ：片山 吉章
京都ウイングクラブ：森本 頼和
京都洛中クラブ：荒木 恒夫
京都エイブルクラブ：大橋 篤司
京都グローバルクラブ：森下 克己
京都みやびクラブ：
京都トップスクラブ：八木 薫史
京都トゥービークラブ：村澤 巧三
京都東稜クラブ：奥西 大輔
京都ウェルクラブ：田栗 和典
京都ZEROクラブ：坂口 バネッサ
北京都フロンティアクラブ：平野 和也